憲法記念日に桜木町駅前で9条宣伝

74回目となる憲法記念日の5月3日、九条かながわの会が、桜木町駅前広場で、行き交う人々、ロープウエイを待つ人びとに、憲法9条を守る宣伝活動を行いました。

神奈川うたごえ協議会のメンバー10人による歌と音楽、5名のリレートーク、「憲法9条を守ろう！改憲発議を阻止しよう！」の横断幕を掲げたスタンディングと、日本学実会議会員任命拒否撤回を求める県民署名を集める活動を行いました。参加者は、九条かながわの会事務局メンバー、東戸塚九条の会と神奈川うたごえ協議会の方々など、25人でした（写真1）。

写真1　神奈川うたごえ協議会の皆さんの歌と演奏

最初と最後に、神奈川うたごえ協議会の皆さんによる「青い空は」や「翼をください」などの歌と演奏がありました。

リレートークでは、岡田尚事務局代表が「コロナ禍を口実に緊急事態項目を入れる改憲策動は許せない。横浜ではカジノ誘致についての住民投票を求める署名が19万以上集まった。愛知県知事リコールでは、全体の8割に及ぶ不正な大量の署名が偽造されたが、横浜市の署名は9割以上が選管で有効署名と認められた住民自治を実現しようとする署名だった。8月22日の市長選では、カジノ反対の市長を実現したい」と訴えました（写真2）。

写真2　岡田事務局代表の訴え

後藤仁敏事務局長は、「74回目の憲法記念日を迎えたが、今日ほど、憲法9条が蹂躙されていることはなかった。安倍前首相は9条に自衛隊を明記するなどの改憲4項目を提示し、トランプ前米大統領に言われるままにアメリカ製の武器を爆買いし、米軍と一体化した自衛隊を増強した。安倍改憲を受け継いだ菅政権は、今、コロナ禍を口実に緊急事態条項を入れる策動を強め、連休明けの衆院憲法審査会で国民投票法の改定を強行しようとしている」と呼びかけました。

写真3　高橋弁護士（左）と山根教授（右）の訴え

続いて、菊谷節夫県平和委員会理事長は平和憲法の意義を、高橋由美弁護士は人権を尊重する憲法の大切さを訴えました（写真3左）。

最後に、山根徹也横浜市大教授が、「昨年菅首相は学術会議会員候補6名の任命を拒否し、憲法23条の学問の自由を蹂躙した。菅首相の地元で、その撤回を求める県民署名を14人の学者が呼びかけて始めている。多くの皆様の署名をお願いします」と訴えました（写真3右）。

1時間ほどの活動でしたが、県民署名が17筆も集まりました。参加された皆様に厚くお礼を申しあげます。

九条かながわ No.21

発行　九条かながわの会

2021年5月4日　発行

〒221-0823 横浜市神奈川区

二ッ谷町2-9　二ッ谷コア202

電話 090-7175-1911 Fax.045-894-1052

e-mail:article9@nifty.com

HP：http://9kanagawa.la.coocan.jp/